

Bluetooth™ アダプター

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の
取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのう
え、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつ
でも見られるところに必ず保管してください。

CLiÉ



PEGA-BT700



警告

安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はまちがった使い方をすると、火災や感電などにより人身事故につながることもあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

6～9ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

すぐにソニーサービス窓口、または販売店に修理をご依頼ください。

万一異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたり、キャビネットを破損したとき



- 1** CLIEの電源を切る
- 2** 本機をCLIEからとりはずす
- 3** ソニーサービス窓口、または販売店に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



注意



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



水ぬれ禁止

行為を指示する記号



指示

機器認定について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

また本機は、電気通信事業法に基づく技術基準適合認定を受けています。

認証機器名は次のとおりです。

認証機器名：PEGA-BT700

ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- 本機を分解／改造すること
- 本機の裏面に貼ってある証明ラベルをはがすこと

周波数について

本機は2.4 GHz帯の2.400 GHzから2.4835 GHzまで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。


本機の使用上の注意

本機の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、ネットコミュニケーション カスタマーリンク（CLIE専用サポートセンター）までお問い合わせください。

2.4 FH1

この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10 mです。

- CLIE、はソニー株式会社の商標です。
- Palm OS、HotSyncは、Palm, Inc.またはその子会社の登録商標であり、Palm Desktop、HotSyncのロゴは、Palm, Inc.またはその子会社の商標です。
- Microsoft、WindowsおよびWindows NTは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- BLUETOOTHは、その権利者が所有している商標であり、ソニーはライセンスに基づき使用しています。
- Palmscape（パームスケープ）は株式会社イリンクスの登録商標です。
- cdmaOneはCDG（CDMA Development Group）の商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

当該ソフトウェアをご使用いただく前に、ソフトウェア使用許諾契約書をお読みください。

- ☐ 権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されております。
- ☐ 本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は、一切その責任を負いかねます。
- ☐ 万一、製造上の原因による不良がありましたらお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。
- ☐ 本機に付属のソフトウェアは、本機以外には使用できません。
- ☐ 本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご容赦ください。
- ☐ 本機に付属していないソフトウェアを使用した際の動作は、保証しておりません。

目次

⚠ 警告・⚠ 注意	6
はじめに	10
本機を使ってできること	11
付属品を確かめる	12
各部のなまえ	13
本機を取り付ける／取りはずす	14
ソフトウェアをインストールする	15
HotSyncする	17
Bluetooth通信で初めて HotSyncするときは	17
HotSyncするには (2回目以降)	20
インターネットに接続する	22
Bluetooth通信で初めてインター ネットに接続するときは	22
インターネットに接続するには (2回目以降)	26
詳細な設定を行う	28
通信相手の情報を表示する	28
接続に関する設定を変更する	28
不要な通信相手を削除する	29
困ったときは	31
使用上のご注意	34
お手入れ	36
Bluetooth通信について	37
接続形態	37
速度	38
通信距離と電力	38
Bluetooth標準規格とは	38
セキュリティについて	38
主な仕様	39
保証書とアフターサービス	40



下記の注意事項を守らないと**火災・感電**などにより
死亡や大けがの原因となります。

本機は国内専用です

海外では国によって電波使用制限があるため、本機を使用した場合罰せられることがあります。



油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない

上記のような場所に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。取扱説明書に記されている使用条件以外の環境での使用は、火災や感電の原因となることがあります。



内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。万一、水や異物が入ったときは、ソニーサービス窓口、または販売店に修理をご依頼ください。



水ぬれ禁止



内部を開けない

火災や感電、けがの原因となります。

また、本機は、(財) テレコムエンジニアリングセンターの認証および(財) 電気通信端末機器審査協会の技術基準適合認定を受けた製品であり、容易に開けられない構造になっています。

内部の点検や修理は、ソニーサービス窓口、または販売店にご依頼ください。



分解禁止

本機はソニーパーソナルエンターテインメントオーガナイザー PEG-SシリーズおよびPEG-Nシリーズ専用です

他の機器で使うと、火災や感電、故障の原因となります。

航空機内で使わない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

医療機器の近くでは使わない

電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。満員電車などの混雑した場所や医療機関の屋内では使わないでください。

心臓ペースメーカーの装着部位から22 cm以上離すこと

電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。



自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くでは使用しないこと

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



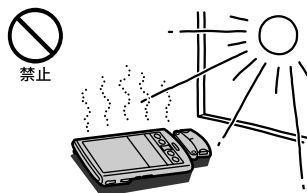


注意

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**物品に損害**を与えたりすることがあります。

直射日光の当たる場所や熱器具近くに設置・保管しない

高温の車内などでは内部の温度が上がり、火災や故障の原因となります。



安定した場所に置く

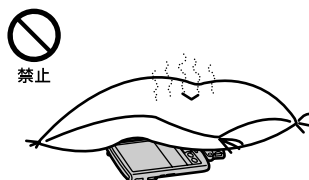
ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。置き場所、取り付け場所の強度も十分に確認してください。

また、CLIEに本機を取り付けたまま、かばん等に入れないでください。



本体を布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



コネクタはきちんと接続する

- コネクタの内部に金属片を入れないでください。ピンとピンがショート（短絡）して、火災や故障の原因となることがあります。
- コネクタはまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むと、ピンとピンがショートして、火災や故障の原因となることがあります。



本機を改造しない

本機の改造を行わないでください。本機の故障の原因となります。



自動車内での使用に注意する

まれに車種により車両電子機器に影響を与える場合があります。自動車内でご使用になる場合はご注意ください。



本機を無理に引っぱらない

故障の原因となります。取りはずすときはレバーを押してください。



はじめに

本機は、ソニーパーソナルエンターテインメントオーガナイザー（以下CLIE）PEG-SシリーズおよびPEG-Nシリーズ用のBluetooth通信アダプタです。本機をCLIEに取り付けると、CLIEとBluetooth対応のパソコンまたは携帯電話やモデム（以下Bluetooth対応機器）をケーブルでつなぐことなく、かんたんにワイヤレス通信をすることができます。

Bluetooth通信とは

Bluetooth通信は、ケーブル接続のわずらわしさをなくし、近距離間の無線通信を実現する技術です。Bluetooth通信について詳しくは、「Bluetooth通信について」(37ページ)をご覧ください。

本機には次の特長があります。

- Bluetooth対応により、約10 mの範囲内でワイヤレス通信を行えます（実際の通信距離は、通信機器間の障害物や電波状況、電子レンジ付近の磁場、静電気、電波障害の発生する場所、使用するソフトウェア、OS、通信する機器の受信感度、アンテナ性能などにより異なります）。
- 登録されていないBluetooth対応機器と通信するのを防ぐセキュリティ機能を搭載しています。

本機と通信できるBluetooth対応機器

CLIEのBluetooth対応機器に関する情報は、ネットコミュニケーション カスタマーリンク（CLIE専用サポートセンター）ホームページをご覧ください。

ホームページ： <http://www.nccl.sony.co.jp/index.html>

ご注意

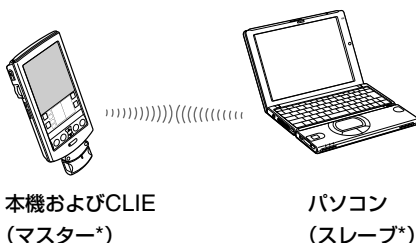
ソニーノートブックコンピュータ PCG-SR9G/K、PCG-SR9M/K、PCG-C1VRX/K、PCG-C1VSX/Kをお使いの場合、「BlueSpace」ソフトウェアやドライバをアップグレードする必要があります。詳しくは、17ページをご覧ください。

本機を使ってできること

本機をCLIEに取り付けると、ケーブルを接続しなくても、CLIEとBluetooth対応機器を使って、下記のワイヤレス通信をすることができます。

HotSyncする

CLIEとBluetooth対応パソコンの間で、ワイヤレスHotSync（データを同期）することができます。HotSyncについて詳しくは、CLIEの取扱説明書をご覧ください。



インターネットに接続する

CLIEからBluetooth対応携帯電話またはモデムを経由してインターネットに接続し、ホームページを見たり、電子メールを送受信することができます。



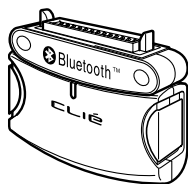
ご注意

携帯電話またはモデムを使ってインターネットに接続するには、通信事業者との回線契約およびインターネットサービスプロバイダ（以下プロバイダ）との契約が別途必要です。

* マスター機器、スレーブ機器について詳しくは、「Bluetooth通信について」(37ページ)をご覧ください。

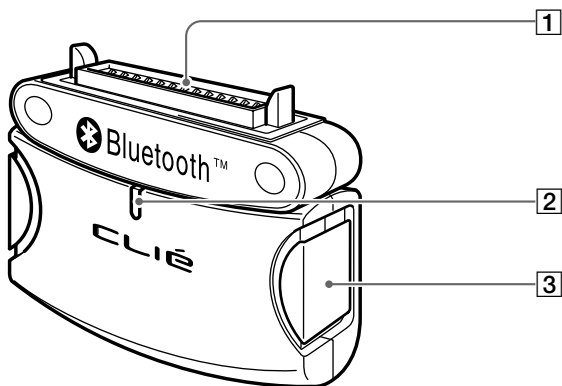
付属品を確かめる

- Bluetoothアダプター (1)



- CD-ROM (1)
- 取扱説明書 (1)
- ソニーご相談窓口のご案内 (1)
- 保証書 (1)

各部のなまえ



① インターフェースコネクタ

② 電源ランプ

③ 取りはずし用レバー



本機をCLIEに取り付けただけでは電源ランプは点灯しません。本機の電源ランプは、CLIEがBluetooth通信を行う準備ができたときに点灯します。

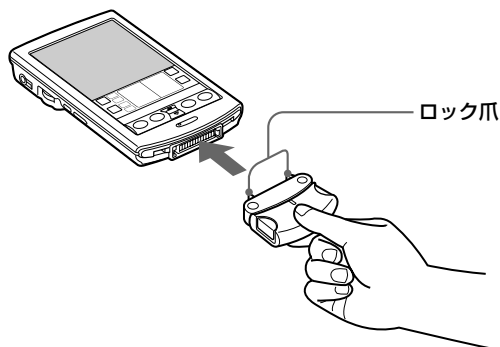
本機を取り付ける／取りはずす

本機をCLIEに取り付ける

CLIE下部のインターフェースコネクタに本機を取り付けます。

ご注意

本機はCLIEに対してまっすぐに挿入してください。また、CLIEに取り付けたあと、本機両側のロック爪がはずれていないことを確認してください。

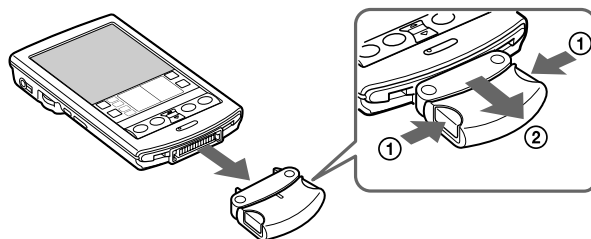


本機をCLIEから取りはずす

取りはずし用レバーを押しながら本機を引っぱります。

ご注意

- 電源ランプ点灯中は本機を取りはずさないでください。
- 本機を取りはずすときに片側がCLIEに引っかかった場合は、無理に抜かないで、一度CLIEに押し込んでから、もう一度はずしてみてください。



ソフトウェアをインストールする

本機をCLIEに取り付けて、初めてBluetooth通信を行うときは、CLIEにBluetooth環境設定ソフトウェアをインストールします。Bluetooth環境設定ソフトウェアは、本機に付属のCD-ROMからインストールします。

ご注意

- ・ インストールをする前にCLIEにクレードルを取り付けてパソコンと接続しておく必要があります。CLIEとパソコンの接続のしかたについて詳しくは、CLIEの取扱説明書をご覧ください。
- ・ インストールは、パソコンのCD-ROMドライブを使用します。CD-ROMドライブを搭載していないパソコンをお使いの場合は、以下の手順を行う前に、CD-ROMが読めるようにしておく必要があります。CD-ROMの使いかたについて詳しくは、パソコン本体の取扱説明書およびオンラインマニュアル、またはCD-ROMドライブの取扱説明書などをご覧ください。

1 CLIEのソフトリセットを行う。

ソフトリセットのしかたについては、CLIEの取扱説明書をご覧ください。

2 本機に付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブなどに入れる。

インストーラが起動し、「Bluetooth環境設定ソフトウェア」画面が表示されます。



インストーラが自動的に起動しない場合は、CD-ROM内の「setup」(setup.exe) をダブルクリックしてください。

3 以降、インストーラ画面の指示に従って操作する。

- ・ PEG-Sシリーズ、PEG-Nシリーズの機種を選択する画面では、お使いのCLIEの機種を選択します。

ご注意



- お使いの機種と異なるシリーズを選択すると、Bluetooth通信は行えません。
- 複数の機種をお使いの場合は、機種ごとにインストールを行ってください。
- ・ ユーザー名を選択する画面では、使用するユーザー名を選択します。

4 インストーラを終了する画面が表示されたら、[完了] をクリックする。

これで、Bluetooth環境設定ソフトウェアをインストールする準備ができました。続いて、HotSyncを行い、パソコンからCLIEにBluetooth環境設定ソフトウェアをインストールします。


5 パソコンでWindows画面右下のタスクトレイの アイコンをクリックする。

表示されたショートカットメニューで [ローカル] がチェックされていることを確認してください。

 タスクトレイに  アイコンが表示されていないときは

[スタート] メニューの [プログラム] - [Sony CLIE] - [HotSync マネージャー] をクリックしてHotSync マネージャーを起動します。

6 CLIEでローカルHotSyncを実行する。

クレードルのフロントパネルの  ボタンを押すとローカルHotSyncが始まり、Bluetooth環境設定ソフトウェアがCLIEにインストールされます。

HotSyncする

本機をCLIEに取り付けて、CLIEとBluetooth対応パソコンを使って、ワイヤレスHotSyncします。

ご注意

- 初めてBluetooth通信を行うときは、CLIEにBluetooth環境設定ソフトウェアをインストールしておく必要があります。詳しくは、「ソフトウェアをインストールする」(15ページ)をご覧ください。
- 以下のノートブックコンピュータを使ってBluetooth通信を行うときは、ノートブックコンピュータにインストールされている「BlueSpace」ソフトウェアやドライバをアップグレードする必要があります。VAIOカスタマーリンクのホームページ (<http://vcl.vaio.sony.co.jp/>) からアップグレードモジュールをダウンロードして、「BlueSpace」ソフトウェアをアップグレードしてください。

アップグレード対象機種：

PCG-SR9G/K、PCG-SR9M/K、PCG-C1VRX/K、PCG-C1VSX/K

- 操作中および通信中は、本機に衝撃を与えたり、本機を取りはずしたりしないでください。

Bluetooth通信で初めてHotSyncするときは

CLIEとBluetooth対応パソコンを使って、Bluetooth通信で初めてHotSyncするときは、接続方法を設定し、通信相手を登録する必要があります。以下は、Bluetooth通信で初めてHotSyncするときの手順です。2回目以降のHotSyncの操作については、「HotSyncするには(2回目以降)」(20ページ)をご覧ください。



通信相手の登録とは

不特定のBluetooth対応機器からのアクセスを防ぐためには通信相手を確認する必要があります。本機とBluetooth対応機器との間でBluetooth通信を行うときには、あらかじめ共通のパスキーを入力することにより通信相手を登録しておきます。



パスキーとは

パスキーは、2台のBluetooth対応機器がお互いに接続を許可するために、ユーザーが入力する暗証番号です。同一の英数字列を双方の機器で入力すると、接続が許可されます。お互いに同じ英数字列を入力さえすれば、毎回異なったパスキーを用いても構いません。なお、一度接続が許可されると、あらかじめ設定された期間内はパスキーを入力しなくても接続できます。

1 接続方法を設定する

Bluetooth通信を行うときに使用する接続方法をCLIEに設定します。

1 本機をCLIEに取り付ける。

2 CLIEのホーム画面で【環境設定】アイコンをタップする。

「環境設定」画面が表示されます。

3 右上の▼をタップして、【接続】を選ぶ。

「使用できる設定」の一覧が表示されます。

4 【新規】をタップする。

「編集」画面が表示されます。

- 接続名：通信相手となるBluetooth対応機器に応じて、接続方法に名称を設定できます。「カスタム」の部分に好みの接続名を入力します。
- 接続方法：▼をタップして、【Bluetooth通信とパソコン】を選択します。

5 【OK】をタップする。

接続方法が「使用できる設定」の一覧に、手順4で入力した「接続名」の名称で追加されます。

2 通信相手を登録する

1 パソコンの電源を入れて、Bluetooth機能をオンにする。

操作について詳しくは、パソコン本体の取扱説明書およびオンラインマニュアルをご覧ください。

2 CLIEで「環境設定」画面右上の▼をタップして、【接続 Bluetooth】を選ぶ。

本機が初期化されます。また、本機の電源ランプが点灯します。



- 本機の電源ランプが点灯しない場合は、本機をCLIEからはずし、もう一度本機をCLIEに取り付けてみてください。
- CLIEでシステム音が鳴るように設定されている場合は、本機の初期化が終了するとシステム音が鳴ります。

3 【探索】をタップする。

CLIEの周囲にあるBluetooth対応機器の探索が始まります。

探索が終了すると、CLIEの周囲にあるBluetooth対応機器が表示されます。

4 登録したいパソコンを選択し、[接続] をタップする。

CLIEに「サービス選択」画面が表示されます。

5 ▼をタップして、パソコンでBluetooth通信に使用している通信ポートを選ぶ。

通信ポートを確認・変更するには、パソコンにインストールされているBluetooth設定用ソフトウェアで行ってください。

6 [OK] をタップする。

選択したパソコンに「パスキー入力」画面が表示されます。

7 パソコンでパスキーを入力し、[OK] をクリックする。

CLIEに「認証」画面が表示されます。

8 手順7と同じパスキーをCLIEで入力し、[OK] をタップする。

CLIEとパソコンでお互いの登録が完了しました。

9 CLIEで [ホーム] アイコンをタップする。

ホーム画面に戻ります。




- Bluetooth対応機器によっては、「サービス選択」や「パスキー入力」の画面表示順が上記の操作手順と異なる場合や画面が表示されない場合があります。表示された画面に従って、必要に応じてサービス選択やパスキーの入力を行ってください。
- 電波状況により「探索」、「接続」に時間がかかる場合があります。

3 HotSyncする

1 パソコンでWindows画面右下のタスクトレイの アイコンをクリックする。

表示されたショートカットメニューで [ローカル] がチェックされていることを確認してください。



タスクトレイに  アイコンが表示されていないときは

[スタート] メニューの [プログラム] - [Sony CLIE] - [HotSync マネージャー] をクリックしてHotSync マネージャーを起動します。

2 CLIEのホーム画面で [HotSync] アイコンをタップする。

「HotSync」画面が表示されます。

3 [ローカル] が選択されていることを確認する。

4 アイコン下の▼をタップして、使用する接続を選ぶ。


接続は「**1** 接続方法を設定する」(18ページ)の手順4で設定した接続名を選択してください。

5 アイコンをタップする。

HotSyncが始まります。

HotSyncが終了すると、HotSyncの完了を示すメッセージが表示されます。

ご注意

もう一度  アイコンをタップしても、HotSyncできない場合があります。一度HotSyncしたBluetooth対応パソコンと再びHotSyncするときは、下記の「HotSyncするには(2回目以降)」の手順でHotSyncしてください。

HotSyncが終了したあとは

パソコンのBluetooth機能をオフにします。操作について詳しくは、パソコン本体の取扱説明書およびオンラインマニュアルをご覧ください。



CLIEとパソコンのBluetooth接続は、HotSyncが終了すると自動的に切断されます。

HotSyncするには(2回目以降)

ここでは、通信相手として登録されているBluetooth対応パソコンとHotSyncする手順を説明します。

通信相手として登録されていないBluetooth対応パソコンを使う場合は、「Bluetooth通信で初めてHotSyncするときは」(17ページ)の手順**2**～**3**でHotSyncしてください。

1 以下の準備を行う。

- 本機をCLIEに取り付ける。
- パソコンの電源を入れて、Bluetooth機能をオンにする。

2 CLIEのホーム画面で【環境設定】アイコンをタップする。

「環境設定」画面が表示されます。

3 右上の▼をタップして、【接続 Bluetooth】を選ぶ。

本機が初期化され、CLIEに登録されているBluetooth対応機器が表示されます。

4 登録されている通信相手（パソコン）を選択し、[接続] をタップする。

CLIEと通信相手がBluetooth接続されます。



通信相手や設定によっては、パスキー入力を促す画面が表示されます。表示された画面に従って、パスキーを入力してください。

5 CLIEで [ホーム] アイコンをタップする。

ホーム画面に戻ります。

以降、「**3** HotSyncする」(19ページ) の手順でHotSyncしてください。

インターネットに接続する

CLIEとBluetooth対応携帯電話またはモデムを使って、ホームページを見たり、電子メールを送受信します。

ご注意

- 初めてBluetooth通信を行うときは、CLIEにBluetooth環境設定ソフトウェアをインストールしておく必要があります。詳しくは、「ソフトウェアをインストールする」(15ページ)をご覧ください。
- 操作中および通信中は、本機に衝撃を与えたり、本機を取りはずしたりしないでください。

Bluetooth通信で初めてインターネットに接続するときは

CLIEとBluetooth対応携帯電話またはモデムを使って、Bluetooth通信で初めてインターネットに接続するときは、接続方法を設定し、通信相手を登録する必要があります。以下は、Bluetooth通信で初めてインターネットに接続するときの手順です。2回目以降のインターネット接続の操作については、「インターネットに接続するには(2回目以降)」(26ページ)をご覧ください。

通信相手の登録とは

不特定のBluetooth対応機器からのアクセスを防ぐためには通信相手を確認する必要があります。本機とBluetooth対応機器との間でBluetooth通信を行うときには、あらかじめ共通のパスキーを入力することにより通信相手を登録しておきます。

パスキーとは

パスキーは、2台のBluetooth対応機器がお互いに接続を許可するために、ユーザーが入力する暗証番号です。同一の英数字列を双方の機器で入力すると、接続が許可されます。お互いに同じ英数字列を入力さえすれば、毎回異なったパスキーを用いても構いません。なお、一度接続が許可されると、あらかじめ設定された期間内はパスキーを入力しなくても接続できます。

通信相手のパスキーが固定されているときは

Bluetooth対応機器によっては、パスキーが固定されている場合があります。パスキーが固定されているBluetooth対応機器を通信相手として登録するときは、通信相手に設定されているパスキーを本機で入力すると、接続が許可されます。そのため、あらかじめ通信相手に設定されているパスキーを確認しておく必要があります。詳しくは、お使いのBluetooth対応機器の取扱説明書をご覧ください。

1 接続方法を設定する

Bluetooth通信を行うときに使用する接続方法をCLIEに設定します。

1 本機をCLIEに取り付ける。

2 CLIEのホーム画面で**【環境設定】アイコンをタップする。**

「環境設定」画面が表示されます。

3 右上の▼をタップして、**【接続】を選ぶ。**

「使用できる設定」の一覧が表示されます。

4 **【新規】をタップする。**

「編集」画面が表示されます。

- 接続名：通信相手となるBluetooth対応機器に応じて、接続方法に名称を設定できます。「カスタム」の部分に好みの接続名を入力します。
- 接続方法：▼をタップして、**【Bluetooth通信とモデム】**を選択します。

5 **【OK】をタップする。**

接続方法が「使用できる設定」の一覧に、手順4で入力した「接続名」の名称で追加されます。

2 通信相手を登録する

1 携帯電話またはモデムの電源を入れて、Bluetooth機能をオンにする。

操作について詳しくは、携帯電話またはモデムの取扱説明書をご覧ください。

2 CLIEで**「環境設定」画面右上の▼をタップして、【接続 Bluetooth】を選ぶ。**

本機が初期化されます。また、本機の電源ランプが点灯します。



- 本機の電源ランプが点灯しない場合は、本機をCLIEからはずし、もう一度本機をCLIEに取り付けてみてください。
- CLIEでシステム音が鳴るように設定されている場合は、本機の初期化が終了するとシステム音が鳴ります。

3 [探索] をタップする。

CLIEの周囲にあるBluetooth対応機器の探索が始まります。
探索が終了すると、CLIEの周囲にあるBluetooth対応機器が表示されます。

4 登録したい携帯電話またはモデムを選択し、[接続] をタップする。

CLIEに「サービス選択」画面が表示されます。

5 ▼をタップして、携帯電話またはモデムで使用しているサービスを選ぶ。

使用しているサービスについては、携帯電話またはモデムの取扱説明書をご覧ください。

6 [OK] をタップする。

選択した携帯電話またはモデムに「パスキー入力」画面が表示されます。

パスキーが固定されているBluetooth対応機器を選択したときは、ここでCLIEに「認証」画面が表示されます。手順8にすんで、Bluetooth対応機器に設定されているパスキーを入力してください。

7 携帯電話またはモデムでパスキーを入力し、[OK] を選ぶ。

CLIEに「認証」画面が表示されます。

8 手順7と同じパスキー（通信相手となるBluetooth対応機器のパスキーが固定されている場合は、そのパスキー）をCLIEで入力し、[OK] をタップする。

CLIEと携帯電話またはモデムでお互いの登録が完了しました。



- Bluetooth対応機器によっては、「サービス選択」や「パスキー入力」の画面表示順が上記の操作手順と異なる場合や画面が表示されない場合があります。表示された画面に従って、必要に応じてサービス選択やパスキーの入力を行ってください。
- 電波状況により「探索」、「接続」に時間がかかる場合があります。

ご注意

パスキーを入力してセキュリティをオンにしないと、CLIEからBluetooth対応携帯電話またはモデムを経由してインターネットに接続したときに、他のユーザーのダイヤルアップ通信の回線使用料が課金されるおそれがあります。

3 ダイアルアップ接続する

- 1 CLIEで「環境設定」画面右上の▼をタップして、[ネットワーク]を選ぶ。
- 2 [サービス]の▼をタップして、使用するサービス(プロバイダ名)を選ぶ。
- 3 画面中央の[接続]の▼をタップして、使用する接続を選ぶ。

接続は「1 接続方法を設定する」(23ページ)の手順4で設定した接続名を選択してください。



[接続]以外の項目を設定していないときは、契約したプロバイダの情報を設定してください。設定のしかたについて詳しくは、CLIEの取扱説明書をご覧ください。

4 画面下の[接続]をタップする。

ダイアルアップ接続が行われます。

ご注意

ダイアルアップ接続を切断し、[環境設定]-[ネットワーク]からもう一度[接続]をタップしても、ダイアルアップ接続できない場合があります。再びダイアルアップ接続するには、「インターネットに接続するには(2回目以降)」(26ページ)の手順で行ってください。

5 [ホーム]アイコンをタップする。

ホーム画面に戻ります。

4 ホームページを見る／電子メールを送受信する

CLIEのホーム画面から、以下の操作を行うことができます。

- ホームページを見る

CLIEで「Palmscape」ソフトウェアなどを起動して、ホームページアドレス(URL)を指定すると、ホームページが表示されます。

- 電子メールを送受信する

CLIEで「CLIE Mail」ソフトウェアなどを起動して、電子メールを送受信します。例えば、「CLIE Mail」ソフトウェアの画面で[送受信]をタップすると、電子メールが送受信されます。

ご注意

ダイアルアップ接続を切断し、ソフトウェア上のアイコンからもう一度ダイアルアップ接続しても、接続できない場合があります。再びダイアルアップ接続するには、「インターネットに接続するには(2回目以降)」(26ページ)の手順で行ってください。

インターネットを使ったあとは

1 CLIEでダイヤルアップ接続を切断する。

操作について詳しくは、お使いのソフトウェアのヘルプなどをご覧ください。

2 携帯電話またはモデムのBluetooth機能をオフにする。

操作について詳しくは、携帯電話またはモデムの取扱説明書をご覧ください。



CLIEと携帯電話またはモデムのBluetooth接続は、ダイヤルアップ接続を切断すると自動的に切断されます。

インターネットに接続するには（2回目以降）

ここでは、通信相手として登録されているBluetooth対応携帯電話またはモデムを使って、インターネットに接続する手順を説明します。

通信相手として登録されていないBluetooth対応携帯電話またはモデムを使う場合は、「Bluetooth通信で初めてインターネットに接続するときは」(22ページ) の手順**2**～**4**でインターネットに接続してください。

1 以下の準備を行う。

- 本機をCLIEに取り付ける。
- 携帯電話またはモデムの電源を入れて、Bluetooth機能をオンにする。

2 CLIEのホーム画面で[環境設定] アイコンをタップする。

「環境設定」画面が表示されます。

3 右上の▼をタップして、[接続 Bluetooth] を選ぶ。

本機が初期化され、CLIEに登録されているBluetooth対応機器が表示されます。

4 登録されている通信相手（携帯電話またはモデム）を選択し、[接続] をタップする。

CLIEと通信相手がBluetooth接続されます。



通信相手や設定によっては、パスキー入力を促す画面が表示されます。表示された画面に従って、パスキーを入力してください。

5 右上の▼をタップして、[ネットワーク]を選ぶ。

6 画面下の[接続]をタップする。

ダイヤルアップ接続が行われます。

7 [ホーム]アイコンをタップする。

ホーム画面に戻ります。

以降、「**4** ホームページを見る／電子メールを送受信する」(25ページ)の操作を行ってください。

詳細な設定を行う

通信相手の情報を表示する

CLIEに登録されているBluetooth対応機器の情報を確認することができます。

- 1 本機をCLIEに取り付ける。
- 2 CLIEのホーム画面で[環境設定] アイコンをタップする。
「環境設定」画面が表示されます。
- 3 右上の▼をタップして、[接続 Bluetooth] を選ぶ。
本機が初期化され、CLIEに登録されているBluetooth対応機器が表示されます。
- 4 情報を表示したいBluetooth対応機器を選択する。
- 5 [情報] をタップする。
CLIEに「Bluetoothデバイス情報」画面が表示されます。
 - デバイス名：選択したBluetooth対応機器の名称が表示されます。
 - アドレス：選択したBluetooth対応機器のBluetooth通信固有のアドレスが表示されます。
 - サービス名：前回のBluetooth通信で使用した通信ポートが表示されます。
- 6 [OK] をタップする。
接続 Bluetooth画面に戻ります。

接続に関する設定を変更する

本機をCLIEに取り付けて、Bluetooth通信を行うときの接続に関する設定を変更できます。

- 1 本機をCLIEに取り付ける。
- 2 CLIEのホーム画面で[環境設定] アイコンをタップする。
「環境設定」画面が表示されます。

3 右上の▼をタップして、[接続 Bluetooth] を選ぶ。

本機が初期化され、CLIEに登録されているBluetooth対応機器が表示されます。

4 [設定] をタップする。

CLIEに「Bluetooth設定」画面が表示されます。

- デバイス名：通信相手に表示される本機の名称が表示されます。好みの名称に変更できます。初期設定は「CLIE」です。
- アドレス：本機に搭載されているBluetooth通信固有のアドレスが表示されます。変更はできません。
- 探索時間：CLIEの周囲にあるBluetooth対応機器を探索するときの時間（長さ）が表示されます。▼をタップして変更できます。
- セキュリティ：本機とBluetooth対応機器間のセキュリティレベルが表示されます。セキュリティは、次の3つから選択することができます。
[セキュリティ無し]：セキュリティをかけません。
[アプリケーションレ...]：アプリケーション（ソフトウェア）を使うときにセキュリティをかけます。
[リンクレベル]：Bluetooth接続時にセキュリティをかけます。
- 切断するまでの時間：「接続 Bluetooth」を終了してから切断するまでの時間が表示されます。▼をタップして変更できます。

5 [OK] をタップする。

接続 Bluetooth画面に戻ります。

不要な通信相手を削除する

CLIEに登録されているBluetooth対応機器を削除できます。

1 本機をCLIEに取り付ける。

2 CLIEのホーム画面で [環境設定] アイコンをタップする。

「環境設定」画面が表示されます。

3 右上の▼をタップして、[接続 Bluetooth] を選ぶ。

本機が初期化され、CLIEに登録されているBluetooth対応機器が表示されます。

4 不要なBluetooth対応機器を選択する。

5 **【削除】 をタップする。**

CLIEに「Bluetoothデバイス削除」画面が表示されます。

6 **【OK】 をタップする。**

選択したBluetooth対応機器が一覧から削除されます。

困ったときは



通信できない、あるいは機器が正常に動作しないなどのトラブルが発生した場合、故障と考える前に、症状に応じて以下の点を確認してください。それでも具合が悪いときは、ソニーサービス窓口、または販売店にご相談ください。

共通

症状	原因／対策
「アダプターが外れている可能性があります。接続をご確認ください。」というメッセージが表示される。	本機をCLIEからはずし、もう一度本機をCLIEに取り付けてみてください。
通信できない。／接続できない。／探索してもBluetooth対応機器が見つからない。	<ul style="list-style-type: none">Bluetooth通信の通信距離を超えている可能性があります。本機とBluetooth対応機器を近づけてみてください。CLIEとBluetooth対応機器に通信相手が登録されていない（登録が確立されていない）可能性があります。18ページまたは23ページの説明に従って登録を行ってください。セキュリティレベルがアプリケーションレベル・リンクレベルになっている可能性があります。その場合の接続は、「接続 Bluetooth」上でパスキーの交換を行ってから各ソフトウェアを実行してください。それ以外のソフトウェアからのパスキー交換は保証されておりません。 また、セキュリティレベルがアプリケーションレベル・リンクレベルによる影響で接続しにくい場合は、相互のBluetooth対応機器のセキュリティレベルを「セキュリティ無し」に設定して、接続し直してください。接続したいBluetooth対応機器に対して「接続 Bluetooth」以外から接続を行うと、セキュリティの問題により接続できないことがあります。「接続 Bluetooth」からもう一度接続し直してください（20、26ページ）。「Bluetooth通信で初めてHotSyncするときは」（17ページ）または「Bluetooth通信で初めてインターネットに接続するときは」（22ページ）の手順に従って、もう一度設定し直してください。Bluetooth対応機器のBluetooth機能がオフになっている可能性があります。お使いのBluetooth対応機器の取扱説明書およびオンラインマニュアルなどを参照してBluetooth機能をオンにしてください。ソニーノートブックコンピューター PCG-SR9G/K、PCG-SR9M/K、PCG-C1VRX/K、PCG-C1VSX/Kをお使いの場合は、10ページをご覧ください。

症状	原因／対策
「サーバーから応答がありません。」または「モデムが見つかりません。」というメッセージが表示されて通信できない。	<ul style="list-style-type: none"> • 誤ったパスキーを入力した可能性があります。もう一度通信相手の登録を行い、正しいパスキーを入力してください（18、23ページ）。 • 接続したいBluetooth対応機器に対して「接続 Bluetooth」以外から接続を行うと、セキュリティの問題により接続できないことがあります。「接続 Bluetooth」からもう一度接続し直してください（20、26ページ）。 • 通信相手からのパスキーの交換要求に応答できないソフトウェアや古いリンクキーが保存されている可能性があります。もう一度通信相手を登録し直してください（18、23ページ）。
本機とBluetooth対応機器間の距離が10 m以内なのに通信できない。	本機とBluetooth対応機器間の障害物や電波状況、電子レンジ付近の磁場、静電気、電波障害の発生する場所、使用するソフトウェア、OS、通信する機器の受信感度、アンテナ性能などによって、通信距離が10 m以内になることがあります。本機の設置場所を移動するか、通信機器間の距離を近づけてください。
データ転送速度が遅い。	本機とBluetooth対応機器間の距離や障害物、電波状況、電子レンジ付近の磁場、静電気、電波障害の発生する場所、使用するソフトウェア、OS、通信する機器の受信感度、アンテナ性能などによって、データ転送速度は変化します。本機の設置場所を移動するか、通信機器間の距離を近づけてください。

HotSyncできない

症状	原因／対策
HotSyncできない。	<ul style="list-style-type: none"> • パソコンのWindowsのタスクトレイに  アイコンが表示されていて、HotSync マネージャーが動作中であることを確認してください。 アイコンをクリックしてメニューが表示されたら動作中です。 • HotSyncするときにCLIEで選択する接続の設定が「Bluetooth通信とパソコン」になっているかどうか、確認してください（18ページ）。

インターネットに接続できない

症状	原因／対策
通信が安定しない。	電波の状態や回線の状態が悪い可能性があります。携帯電話の電界強度のバー表示が安定して2本以上表示されていない場合は、しばらくしてからかけ直してください。
インターネットに接続できない。	<ul style="list-style-type: none">• CLIEで以下のネットワークの設定を確認してください。<ul style="list-style-type: none">- 接続プロバイダのDNSの設定が正しいか。- ユーザー名、パスワードが正しいか。- 接続先のアクセスポイントの電話番号が正しいか。- 接続先が同一市外局番内でも市外局番からダイヤルするように設定されているか。- 通信方式が電話機の回線契約、プロバイダとの契約に合っているか。- 接続の設定が「Bluetooth通信とモデム」になっているか（23ページ）。• 「Bluetooth通信で初めてインターネットに接続するときは」（22ページ）の手順に従って、もう一度設定し直してください。
電子メールが送受信できない。	<p>CLIEで以下の電子メールソフトウェアの設定を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none">• サーバーの種類が正しいか。• ユーザー名、パスワードが正しいか。

使用上のご注意

本機の取り扱いについて

- 衝撃を加えたり、落としたりしないでください。本機の故障の原因となります。
- 直射日光が当たる場所、暖房器具の近くなど、異常な高温になる場所には置かないでください。故障の原因となることがあります。
- クリップなどの金属物を本機の中に入れてしないでください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- ほこりが多い場所では使用しないでください。
- 湿気が多い場所では使用しないでください。
- 風通しが悪い場所では使用しないでください。
- 本機をCLIEに取り付けるときは、取り付ける向きに注意してください。無理に押しこむと故障の原因となります。
- 電源ランプが点灯中にCLIEから取りはずさないでください。電源ランプが消灯していることをご確認の上、取りはずしてください。
- 本機およびCLIE本体とBluetooth対応機器の位置関係によっては、本機およびCLIEが誤動作するおそれがありますのでご注意ください。

結露について

結露とは空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。そのままご使用になると故障の原因となります。結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。

通信について (携帯電話ご利用時)

- CLIEの[環境設定] - [ネットワーク]の設定のユーザー名に不要な改行や3行以上に渡る文字列があった場合、その部分は表示されないため、認証が正しく行われない場合があります。
- 電波の届かない場所では通信できません。携帯電話ではデータ通信を行います。電話を使って会話できるエリアでも通信できない場合があります。詳しくはお使いの通信事業者へお問い合わせください。
- 携帯電話の通信圏内から圏外、または圏内から圏外へ移行する場合は、正常に接続できないことがあります。
- 電波状態や時間帯によっては、データ通信できない場合があります。その場合は、場所を変えたり、しばらく時間をおいてから接続してください。
- 海外の携帯電話には対応していないため、海外ではご使用になれません。

- ローミングエリアではデータ通信ができない場合があります。また通常お使いになっているサービスが受けられない場合があります。詳しくは通信事業者へお問い合わせください。
- 本機を使つてのFAXの送受信はできません。
- iモード、Ezウェブ専用のページはCLIEで見ることができません。また、携帯電話で使用しているメールもそのままでは見ることができません。
- 回線の状況によっては通信速度が遅くなる場合があります。
- 「ぶらら」では特定のデータ通信の認証に暗号化パスワードを使用しているため、cdmaOne携帯電話のPacketOneでのデータ通信はできません。（「ぶらら」以外にも、暗号化パスワードで認証するプロバイダでは、cdmaOne携帯電話のPacketOneでデータ通信できませんのでご注意ください。）

Bluetooth対応機器の取り扱いについて

- ワイヤレスLANやBluetooth対応機器が使用する2.4 GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。そのためBluetooth対応機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。

- 通信機器間の距離や障害物、電波状況、電子レンジ付近の磁場、静電気、電波障害の発生する場所、使用するソフトウェア、OS、通信する機器の受信感度、アンテナ性能などにより、通信速度や通信距離は異なります。

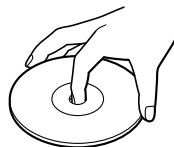
ディスクの取り扱いについて

ディスクに記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- 紙などを貼ったり、傷つけたりしないでください。



- 文字の書かれていない面(再生面)に触れないようにして持ちます。

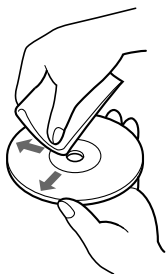


- ほこりやちりの多いところ、直射日光の当たるところ、暖房機具の近く、湿気の多いところには保管しないでください。
- ディスクに液体をこぼさないでください。
- 大切なデータを守るため、ディスクは必ずケースなどに入れて保管してください。

お手入れ

ディスクの汚れは

- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、読みとりエラーの原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でディスクの中心から外の方へ軽く拭きます。



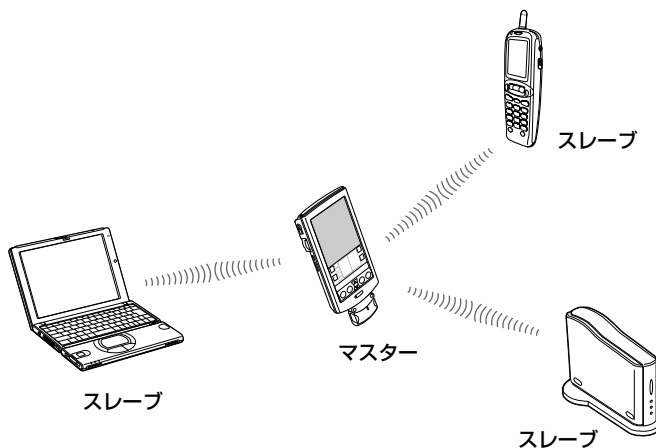
- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などはディスクを傷めることがありますので、使わないでください。

Bluetooth通信について

Bluetooth通信は、パーソナルネットワーク市場に革命をもたらす画期的なワイヤレス通信技術です。小規模で低コストなワイヤレス通信技術の世界標準規格として、パソコンや携帯電話、その他のモバイル機器を結び、さらにインターネットへの接続も可能にします。

電気通信、コンピュータ、ネットワーク分野の世界主要メーカーで構成するBluetooth SIG (Special Interest Group) によって技術の標準化が行われ、参加企業により技術開発と製品化が進められています。Bluetooth SIG には、現在ソニーを含む2,000社以上のパソコン、携帯電話、家電機器のメーカーなどが全世界から参加しています。

接続形態



Bluetooth通信を使うと、1台のマスター機器と、最大7台のスレーブ機器を無線ネットワークで接続し、データをやりとりすることができます。

マスター機器は、周辺にあるBluetooth対応機器に呼びかけ、呼びかけに応えたBluetooth対応機器は、スレーブ機器としてマスター機器に接続することができます。

コンピュータのような機器は、マスター機器として周辺にあるBluetooth対応機器に呼びかけることができます。また、マスター機器からの呼びかけに応じて、スレーブ機器としてマスター機器と接続することもできます。

速度

Bluetooth通信は、最大723 kbpsのデータ転送に対応していますが、実際の転送速度は、通信機器間の距離や障害物、電波状況、電子レンジ付近の磁場、静電気、電波障害の発生する場所、使用するソフトウェア、OS、通信する機器の受信感度、アンテナ性能などにより、自動的に最適のデータ転送速度に調整されます。

通信距離と電力

Bluetooth対応機器には、見通し距離約100～10 m*で通信できるPower class 1の機器と、見通し距離約10 m以下*で通信できるPower class 2, 3の機器があります。

* 障害物がない場合。

実際の通信距離は、通信機器間の障害物や電波状況、電子レンジ付近の磁場、静電気、電波障害の発生する場所、使用するソフトウェア、OS、通信する機器の受信感度、アンテナ性能などにより異なります。

Bluetooth標準規格とは

各社のBluetooth対応機器がBluetooth通信を使ってスムーズに通信できるように、Bluetooth SIGがBluetooth標準規格として、無線通信の方式、セキュリティの方式、用途別のデータ通信方式などを定めています。

すべてのBluetooth対応機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認し、認証を受けることが義務付けられています。

ただし、Bluetooth標準規格に適合していても、接続する機器の特性や仕様によって操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。

セキュリティについて

Bluetooth通信の無線通信には、通信相手を確認するための認証機能があります。

認証機能とは、通信相手を確認して不特定のBluetooth対応機器からのアクセスを防ぐための機能です。2台のBluetooth対応機器が初めて通信するとき、それぞれの機器に共通のパスキーを入力してお互いに登録しあいます。いったん登録した機器と通信するときには、パスキーを入力しなくても自動的に通信が始まります。

主な仕様

ワイヤレス通信

通信方式

Bluetooth標準規格 Ver.1.0B

出力

Bluetooth標準規格 Power Class 3

通信距離¹⁾

見通し距離 約10 m

対応Bluetoothプロファイル²⁾

Serial Port Profile

Dial-up Networking Profile

使用周波数帯

2.4 GHz帯 (2.400 GHz - 2.4835 GHz)

¹⁾ 通信機器間の障害物や電波状況、電子レンジ付近の磁場、静電気、電波障害の発生する場所、使用するソフトウェア、OS、通信する機器の受信感度、アンテナ性能などにより変化します。

²⁾ Bluetooth対応機器同士の使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth標準規格で定められています。

電源・その他

電源

CLIEから供給

DC 4.2～3.6 V

消費電力

MAX 360 mW

動作温度

0℃～40℃

動作湿度

20 %～85 %

最大外形寸法

45×32×9.6 mm (幅／高さ／奥行き)

質量

約12 g

付属品

12ページをご覧ください。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがありますが、ご了承ください。

保証書と アフターサービス

保証書

- この製品を別途お買い求めの場合は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間で

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときはネットコミュニケーション カスタマーリンク (CLIE専用サポートセンター) またはソニーサービス窓口へご連絡ください

ネットコミュニケーション カスタマーリンク (CLIE専用サポートセンター) については、CLIEに添付の「CLIEサービス・サポートのご案内」をご覧ください。

ソニーサービス窓口については、添付の「ソニーで相談窓口のご案内」をご覧ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。ただし、故障の原因が不当な分解や改造であると判明した場合は、保障期間であっても、有償修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の交換について

この製品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

部品の保有期間について

当社はBluetoothアダプターの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後6年間保存しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、ネットコミュニケーション カスタマーリンク (CLIE専用サポートセンター) にご相談ください。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください

- 型名：PEGA-BT700
- 製造番号：
- 故障の状態：できるだけくわしく
- 購入年月日：

CLIE ホームページ

CLIE を楽しく使っていただくための情報をご案内します。

● <http://www.sony.co.jp/CLIE/>

ネットコミュニケーション カスタマーリンク ホームページ

CLIE の最新サポート情報をご案内します。

● <http://www.nccl.sony.co.jp/index.html>

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川16-7-35

使い方のご相談、技術的なお問い合わせは

ネットコミュニケーション カスタマーリンクへ

● 0466-30-3080

カスタマー登録、一般的なお問い合わせは

ソニーカスタマー専用デスクへ

● 03-5977-7255

<http://www.sony.co.jp/>

この説明書は再生紙を使用しています。

Printed in Japan